

ボートルーム

- ボートルームは、8月のオープンから10月末までの間で**4回**、グループの食事会などに利用された。
- β本町橋主催イベントの会場としても活用。
- 11月より船舶の改修工事のため稼働していない。

利用内容	回数
グループでの私的利用(食事)	3
会議	1



グループでの食事会



グループでの食事会



Water front Partyの会場として活用、賑わう船内の様子

β屋台・テーブル

- 8/28-2/16の延べ利用件数：**39件**、月の**最大稼働率40.0%**。
- 露店営業許可を取得したモバイル屋台をレンタル。また、屋台のような小商ができる場所へのニーズが高いことから、テーブル貸を導入した。
- コーヒーやお茶のスタンドなどの飲食販売はもちろんのこと、花屋、服屋、小物販売など幅広い利用がされている。

利用内容	回数
物販(飲食)	18
飲食	6
物販(花)	6
飲食・物販(飲食)	4
物販(雑貨)	3
プロモーション	2



焼き菓子販売



お茶の焙煎と淹れる体験販売



フラワー販売



テーブルでの手作り小物の販売

- 次年度の方針
- ボートルームとは違ったかたちで、東横堀川で運航しやすい船を係留して活用する。
 - 小さなニーズの高まりに答え、屋台の台数を増やして運営する。

大阪府下の生産者や地域とつながり、暮らしがアップデートする市場

- ・都市部における新しい生活インフラとして、大阪府下などの生産者と生活者をつなぐ「やさいバス」プロジェクトに参画し、2021年12月より新鮮な野菜を毎日販売するとともに大阪の農業を応援。
- ・生産者さんにつながるβイチを毎週日曜日に開催し全16回。βイチ前には地域と連携した清掃活動「お掃除プロジェクト」を実施。
- ・βイチの開催に合わせた地域のイベントや屋台出店が増加。地域の方や近隣のお店ともコミュニケーションが生まれている。

野菜販売

- ・野菜をセレクトして週3回納品し、日常的な野菜販売を実現。
- ・近隣のオフィスワーカーや住民の方々に日常的に利用いただいている。

【頻度】2021/12/1~毎週2-3回納品

【販売品目】

- ・やさいバスで届く南大阪（和泉市、岸和田市、貝塚市など）の新鮮野菜
- ※不定期
- ・卵（タナカエッグポートリーファーム）
- ・豆腐（まるしん豆腐）



採れたての野菜を買い取るコーナー

βイチ

- ・こだわりの生産者やβ本町橋のおすすめのお店とつながるマーケットを毎週開催。
- ・開催前には地域の方々との清掃活動を実施。
- ・出店者を目当てに来られるリピーターが増加。

【実施時期】毎週日曜日 PM12~17

(2021/12/19~2022/1/16冬期休み)

【出店情報】

- ・京都間人漁港の鮮魚（熊坂）
- ・高野山のジビエ・ソーセージ（めつげらいさかもと）
- ・南大阪のセレクト野菜（Green Groove中島）※11月末まで
- ・無添加ソーセージ（FTBドリームファクトリー）※10月末まで
- ・卵（タナカエッグポートリーファーム）※9月のみ



秋も冬も楽しめる
日常のマーケット

事業	備考	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
野菜販売	毎週水・金・土納品								
βイチ	毎週日曜		9/26よりスタート						
地域連携イベント	①毎週日曜 ②年2回開催予定		9/26よりスタート		船場博覧会				東横堀川川開き

東横堀川の特徴を活かし、都市の水辺ならではの可能性を拓く保管係留

- 舟運活性化に寄与するため、契約船舶が常時係留できる施設として運営。

①保管係留

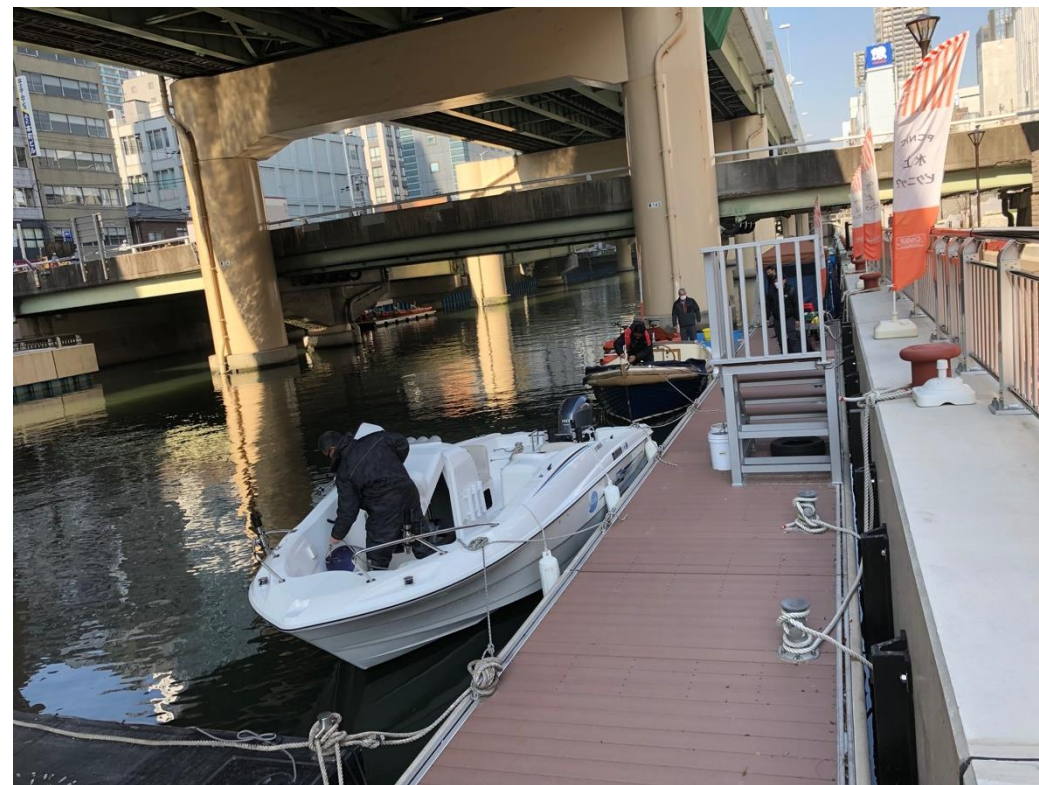
- NPO法人大阪水上安全協会と連携し、小型船を対象として舟運事業者に公平公正に募集し係留希望の船舶を募集。安全な利用ルールのもと、多様な船が安全に係留できるよう運用。3事業者・3艇と保管係留契約。



保管係留している船舶（施設北側公園の護岸）

②一時係留

- 関西電力が主催する「2025大阪・関西万博を見据えた電気推進船向け大容量ワイヤレス充放電実証イベント」支援として、EV船及び牽引船の一時係留の受入を実施。



社会実験のための一次係留（β本町橋施設前棧橋にて1泊の後、実証実験イベント会場の八軒家浜船着場へ移動）



- 次年度の方針
- ・引き続き安全を確保しながら、舟運の多様性を拓くため、新たな係留主体を増やしていく。
- ・新しいことを生み出す実験の場として、社会実験などの一時係留の受け入れを積極的に行う。